

2020年度事業計画及び収支予算決定

(2020年2月21日理事会・3月11日評議員会)

《事業計画》

1 公益事業

(1) 奨学資金の給付

① 対象 社会のために有為な人

材育成することを目的として、都内の高等学校に在学する区民で、成績優秀、心身健全であつて、経済的理由により就学困難な生徒

② 奨学資金 月額11,000円

(2) 学習及び研究奨励

① 区立小・中学校教育研究会への助成

(3) 教育功労者の表彰

① 対象 区内学校教育・社会教育功労者、本会育成功労者

(4) 会報の発行

① 教育振興会の広報誌「会報」を年4回発行。維持会員、小・中学校、社会教育団体、その他

の団体等へ配布。

(5) 史跡めぐりの開催

① 実施 年4回実施予定

② 対象 維持会員、一般区民

(6) 中野区検定事業の実施

(7) 中学生ボランティア表彰

2 収益事業

(1) 国立教育センターの管理

① 教育センターの施設管理

② 教科書・教育資料室の整備

③ 教科書展示業務

《収支予算》

《収支予算》

一般正味財産増減の部

経常増減の部

1 経常収益 11,358,000円

・ 基本財産運用収益

360,000円

・ 受取会費

1,650,000円

・ 受取補助金等

2,000,000円

・ 事業収益

6,690,000円

・ 受取寄付金

101,000円

・ 一般給付賛助金

496,000円

(東京中野ライオンズクラブ様、他)

・ 雜収益

61,000円

昨年12月1日に実施しました第6回中野区検定の結果、一般の部受験者52名のうち、7名の皆様が「ものしおり博士」になられました。

「ものしおり博士」の認定授与式は、

1月17日午後、中野区役所で実施いたしました。

授与式では、中野区が

後援していることから、

来賓の酒井区長、平山英

明副議長、入野教育長から祝辞をいただきました。

第1回目の「ものしおり博士」でもある区長から

は、「今回の検定の問題に、取り組んでみました

が、なかなか難しくもの

しり博士になれたかどうか

が分からぬ。検定を受けられ、中野区のことを知っていた

だけことで、区に関心を持っていた

だけ、区がよくなっていると思っていただけけるよう区政に取り組んでいきたい」等、それぞれのお立場から

検定事業の意義と今後の継続発展に大きな期待を寄せていただきました。

森本検定委員長からは、「中野区の歴史や新たな事柄を知つて欲しいので、過去問も取り入れながら問題

が偏らないように出題しています」

と挨拶があり、永見会長からは、「ものしおり博士になられた皆様、おめでとうございます。

「ものしおり博士」は、お

と挨拶があり、永見会長からは、「ものしおり博士になられた皆様、お

めでとうございます。

中野区検定も6回目を迎えた。毎回60人程度の方が受検され、

中野区のみならず他の区や市からも受検して

いただいています。そして『ものしおり博士』

は、40名となりました。

検定は、中野の歴史・文化・観光・行政の事

を知ついただき中野の良さに興味を持つて

いたたく事を目的としています。今

後は、気軽に受検していただけるビ

ギナー部門も広めてまいりたいと

思っています」と挨拶。式典終了後、懇談会を設け、受検の動機や今回の問題の傾向などについて意見交換し



**中野の
みんなおめでとうございます！**